

地域支援部だより

～佐世保市特別支援教育コーディネーター連絡協議会 全体研修会報告～

2024.9.2

佐世保特別支援学校では、佐世保市と佐々町の特別支援教育コーディネーター連絡協議会の事務局を担っています。連絡協議会は、地域の特別支援教育の理解・推進を目的とし、その取組の一つとして、全体研修会を実施しています。

佐世保市は、8月6日に、実務者である各園・保育所・小学校・中学校・高校の代表の先生方と協力し、全体研修会を本校で開催しました。講義やグループ協議を通して、特別支援教育に関する現状や課題など意見を交換しました。

テーマ：『子どもを中心とした連携の力を高めるために～つながる・つなぐ・つなげる～』

第Ⅰ部

講話：「保護者と園(所)や学校の連携の在り方について」

講師：ペアレントメンターながさき 様

【主な講話内容】

○保護者の立場から伝えたいこと

- ・子供の障害を受容するまで、受容した後の子供への思い
- ・保護者にとって、担任や特別支援教育コーディネーターの存在
- ・子供を共に育てること、支援の方向性や在り方の共有
- ・つながることで見えてくるもの



【講話後のアンケートから(一部紹介)】

- ・実際に障害を抱える子をもつ方のこれまでの子育ての経験は、現在、障害診断を受けて間もない保護者の不安を少しでも取り除いていけると思いました。「ペアレントメンター」の存在を知らなかったので、園にもち帰って、今後の保育に共有できるようにしっかりと伝えたいと思います。(認定子ども園)
- ・「この仕事を選んでくださって、ありがとうございました」との言葉が大変心に刺さりました。この言葉は、どの教育現場やいろいろな場所において、一人一人が自覚し、心にとどめておくことで、困っている方々への支援にしっかりとつながっていくと思われれます。この言葉を私たちにくださった重みを受け止めていきたいと思います。(小学校)
- ・障害のある子をもつ保護者の大変さや苦悩について直接話を聴くことができ、とても貴重な体験になりました。これから、支援を要する子供たちと関わっていく上で、保護者の思いに寄り添うことを大切にしたいと思いました。(中学校)
- ・障害を告知されたときの心境やつらさ、苦しみがリアルに伝わってきました。PTA 研修会などぜひ保護者の方に聞いていただきたいと思いました。(高等学校)

第Ⅱ部

○「連携支援シート」及び「地域資源活用ガイド(令和6年度版)」の紹介

○テーマ別グループ協議



【グループ協議テーマ】

- ①個別の教育支援計画の策定・個別の指導計画の作成
- ②園(所)や校内の支援体制づくり
- ③保護者との連携
- ④指導・支援の方法
- ⑤特別支援教育コーディネーターの役割
- ⑥地域資源の活用と連携
- ⑦進路

グループ協議では、テーマごとに活発な意見交換が行われました。協議内容や出された意見は、今後の連絡協議会の取組に生かしていきたいと考えております。また、「地域資源活用ガイド(令和6年度版)」については、年内に完成させて、連絡協議会から各所・園・学校に送信する予定です。

暑い中、たくさんの先生方にご参加いただきありがとうございました。